

インターン成果報告

私たちから見た Hakuba Valley

千葉商科大学 サービス創造学部

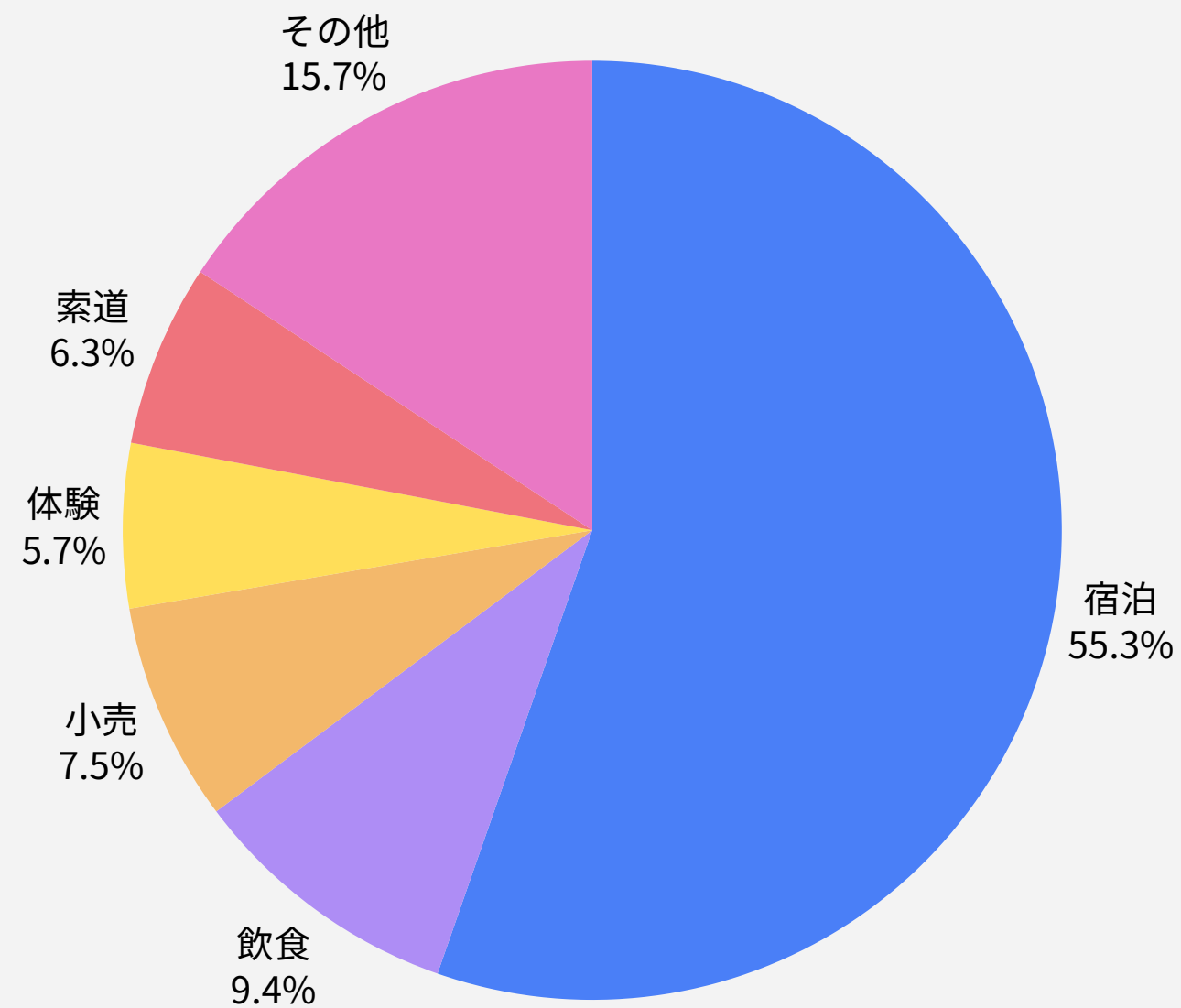
佐藤望琴・福岡充貴・飯塚咲月・清水葵・櫻井柚・高野美佑



- ① HAKUBA VALLEYのSDGsの現状を調査する
 - 地元事業者へのアンケート結果を分析
- ② 事業者のリアルな取り組みを深掘りする
 - 現地ヒアリングを通して事例を調査
- ③ 調査結果を社会に発信する
 - 調査結果を資料として整理
 - プレスリリースやSDGsサイトに活用

→HAKUBA VALLEYの持続可能な観光の発展に貢献する

アンケート集計・整理



【回答事業者の業種構成】

宿泊 88件

飲食 15件

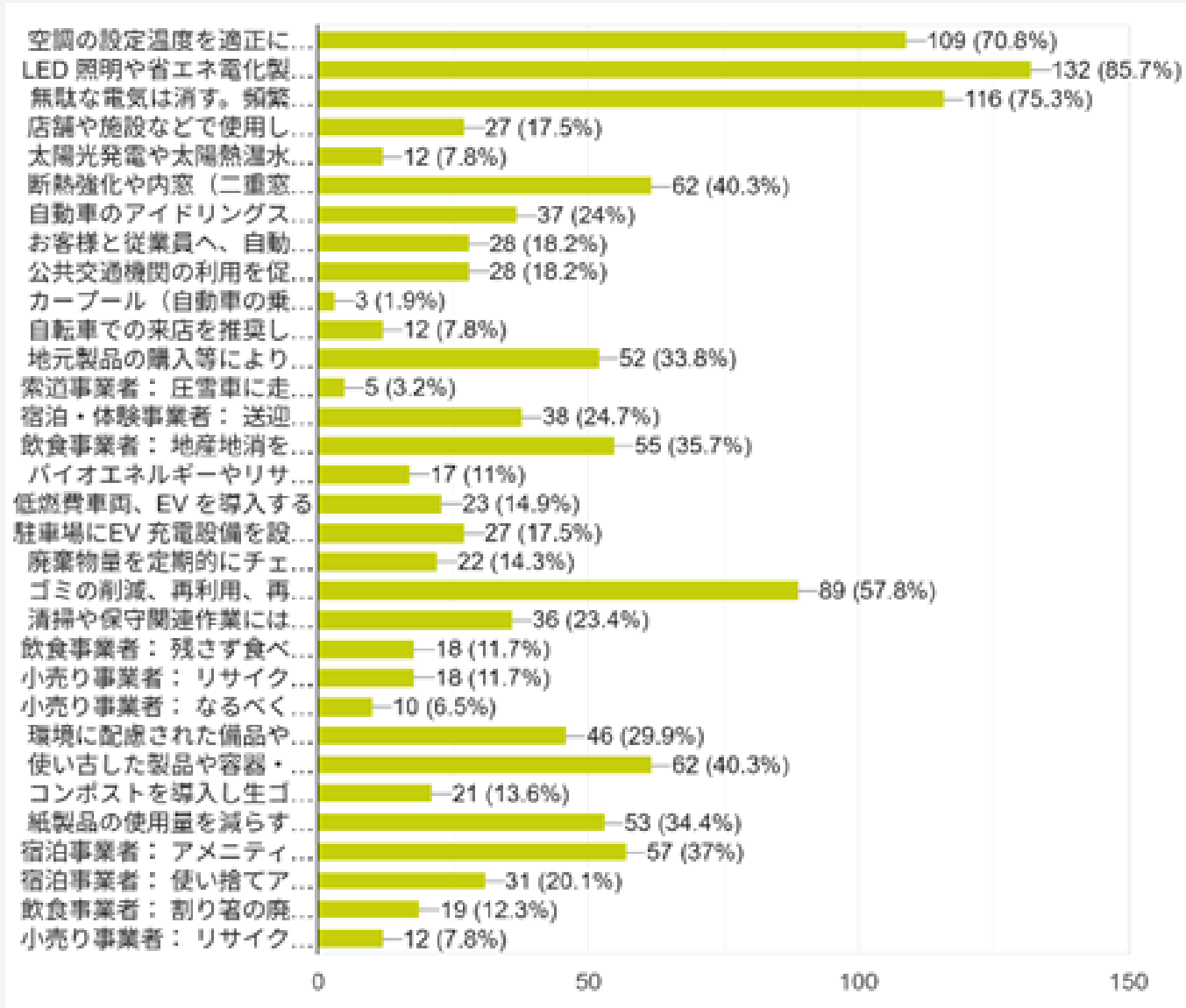
小売 12件

体験 10件

索道 9件

その他 25件

【よく実施されているアクション】



LED照明や省エネ電化製品への切替 132件

無駄な電気の消灯 116件

人感センサー導入 116件

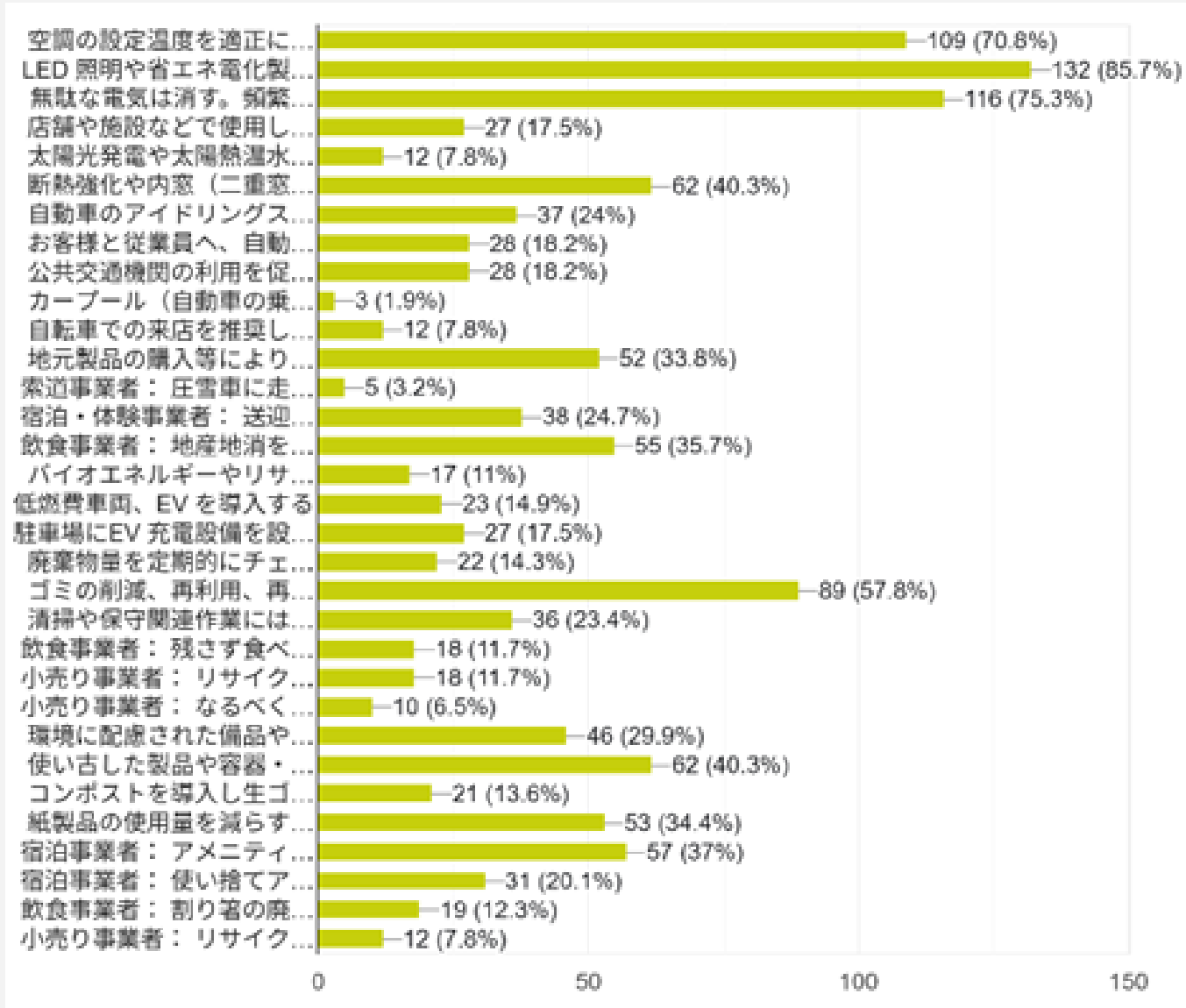
空調設定温度の適正管理 109件

ゴミ削減 再利用 再資源化 89件



「エネルギー削減」と「廃棄物削減」を中心

【よく実施されているアクション】



地域連携や観光体験に
関する取り組みがまだ少ない



地域全体での取り組み拡大が課題

【実際にやってみてどうだったか】



**SDGsの取り組みを実施した事業者の多くが
「コスト削減」という経済的メリットを感じている。**

その他：企業イメージの向上/地域連携の強化/顧客評価の向上

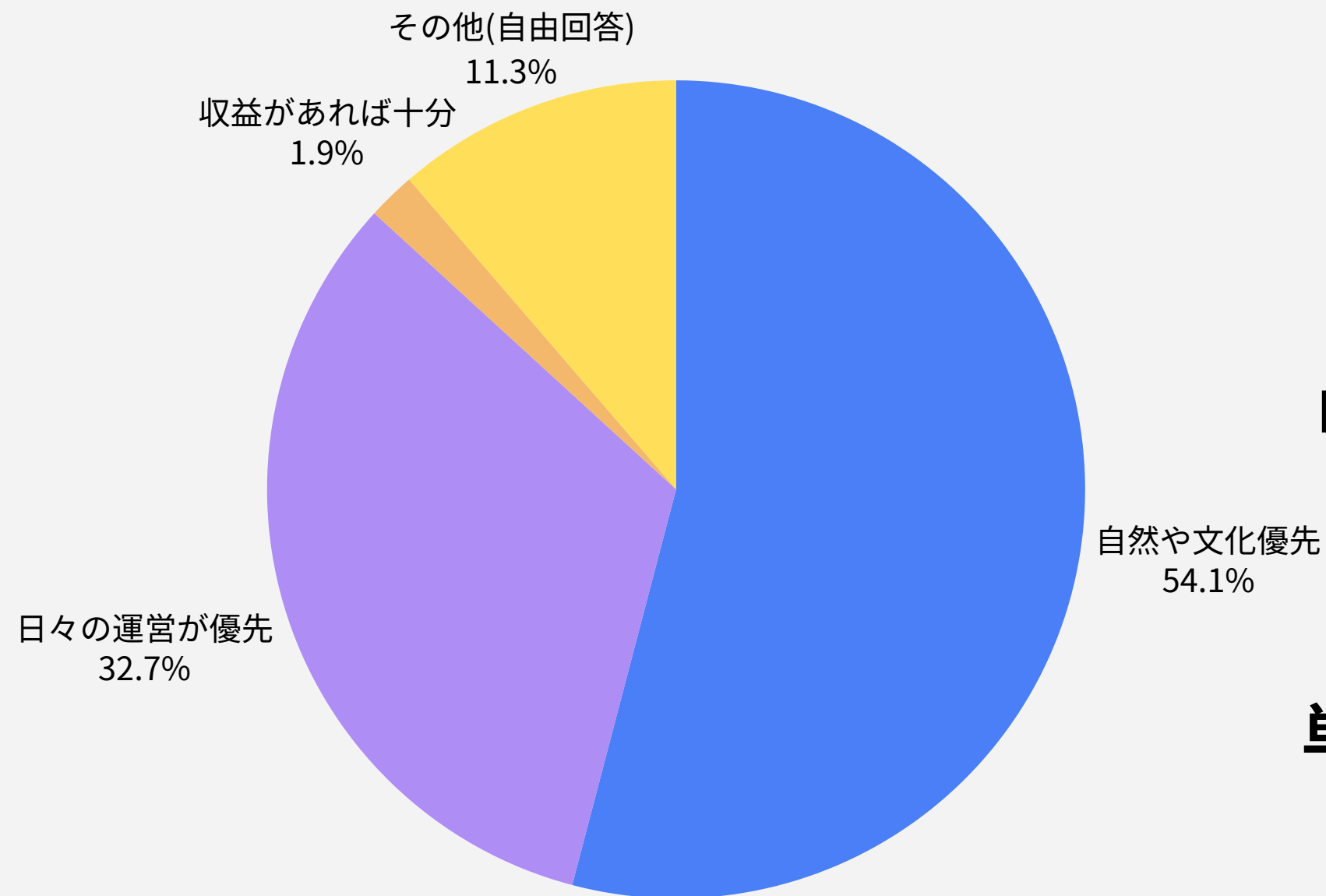
一方で、

「効果を実感できていない」

「成果が見えにくい」

という声も存在する

【この地域が世界から選ばれるリゾートに、、、あなたの考え】日本人（159事業者）

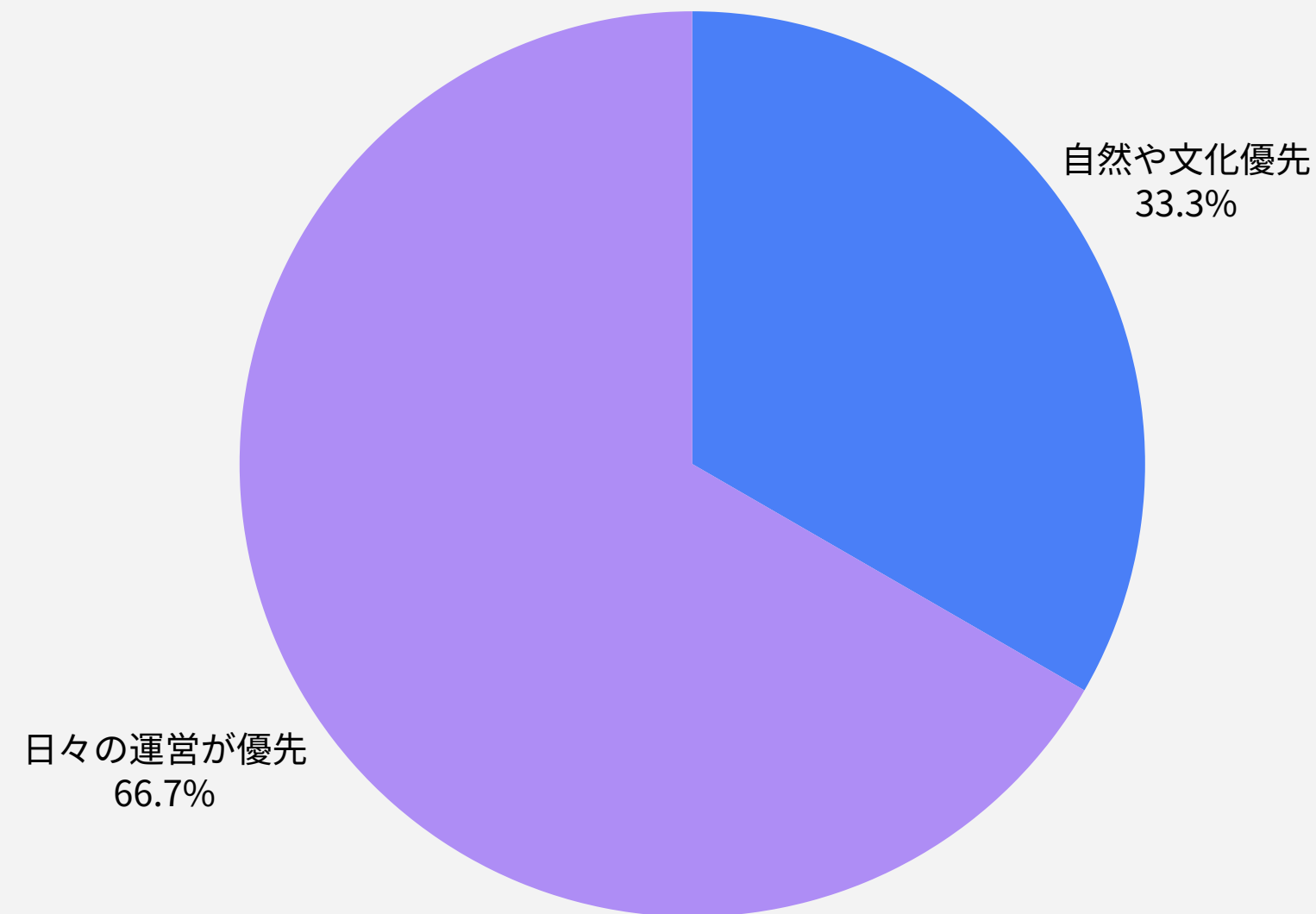


多くの事業者が「自然や文化を守ること」が世界的リゾートの条件だと考えている。

一方で約3割の事業者は「理想は理解しているが日々の経営が優先」という現実的な視点を持っている。

単純な観光客増加や収益だけを重視する意見は非常に少ない

【この地域が世界から選ばれるリゾートに、、、あなたの考え】外国人事業者（3事業者）



**自然や文化の保護の重要性は
認識されているものの、
実際の事業運営とのバランスを重視する
意見が多く見られた。**

※母数が少ないためこの結果からだけで決定づけることはできない

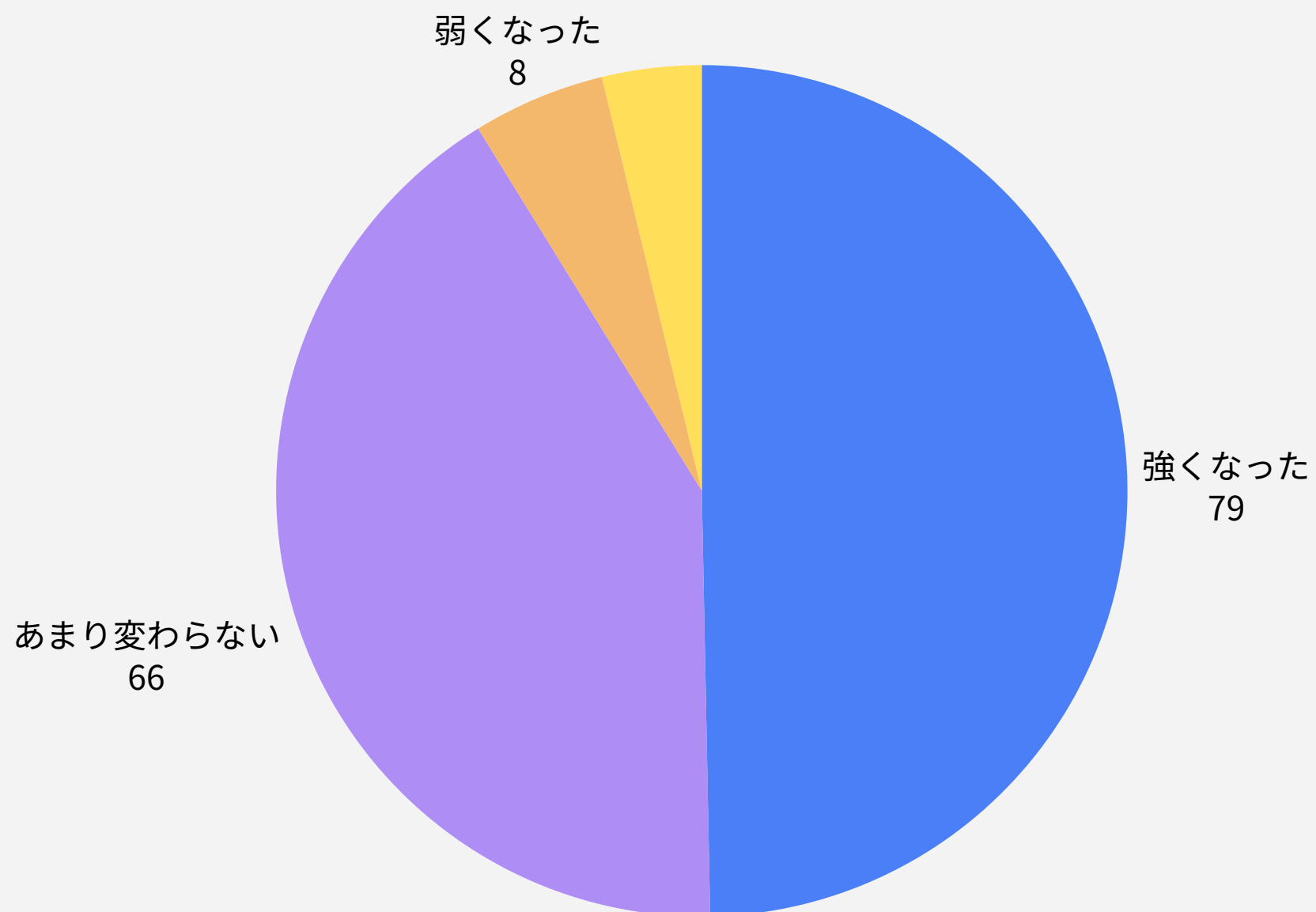
気になったコメント

- 数年前からSDGsプログラムを学習旅行で民間企業の協力のもと企画し、既に学生やらの**研修**で続いている。
➔かなりの評価を得ているが、**企業が人手不足、資材高騰**で少し難しくなっている。
- SDGsとしての取り組みは**デメリット**もあるので他の事例は参考にしない
- SDGsなんて言うのは辞めて、環境保護で良い。世界で笑われる
- 横浜市、富山市などの宿泊したホテルを参考にした。
- 最近では外部の投資や企業の影響で自然や景観が失われつつあり、持続可能な地域づくりには**地域の人々が主体**となることが重要である。

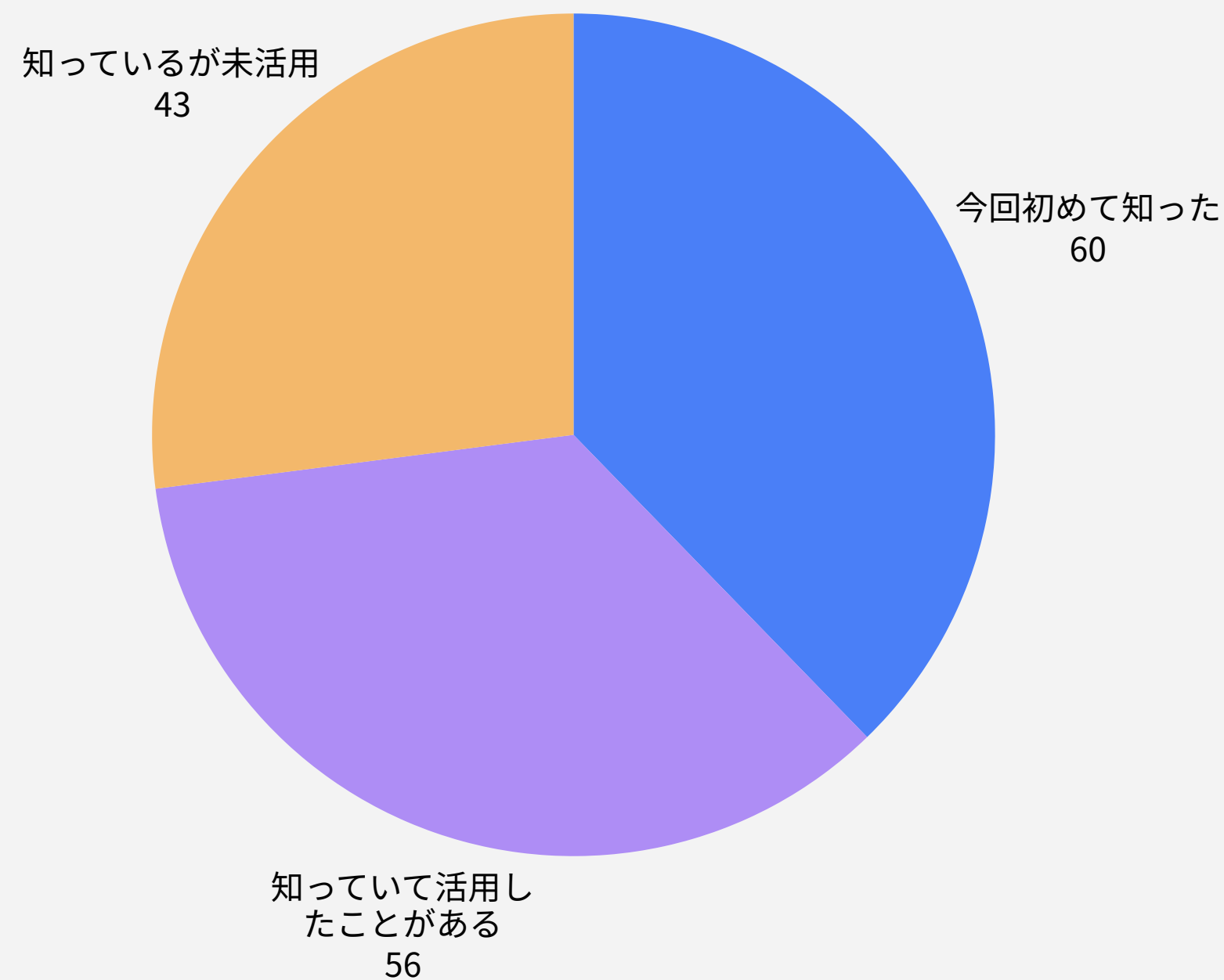
アンケートを見ての感想・思ったこと

- 普段の生活、働く仕事環境など**自分たちにメリット**のあることは多く取り組まれている
➡ 時間や費用、労力のかかるものは自分にメリットがなければ取り組む人が少ない印象
- 環境を変えるためには多くの時間がかかるため、取り組んでも**すぐに変化が出ない**ことが多いため手ごたえを感じにくいのだと思った
- 初期費用が掛かることのハードルの高さや、人手不足により自分の仕事に加えてSDGsのことも考える**余裕がない**のだと感じた

【5年前と比べてSDGsの関心は？】



【SDGsアクションリスト認知状況】



【SDGsへの関心は高まっている】

しかし

「持続可能な取り組みが増えたか」という点はわからない

アンケートから読み取れるのは「アクションリストは初めて知った」という意見が多い

今後の課題

- ・ 事業者向けSDGsセミナー
 - ・ 成功事例の共有
- ・ 分かりやすいガイドの作成

➡地域全体でSDGsの理解が進み、取り組みの拡大につながるのではないか



現地調査まとめ



☆道の駅小谷

◎ SDGsの取り組み

- ・ 不要になった木くずをペレットとして再利用し、エネルギーとして活用。
→かまどご飯の調理に使用している。
- ・ 生ごみ処理機を導入し、廃棄物の削減に取り組んでいる。
- ・ 古民家の古木などを再利用し、施設のリニューアルに活用している。

◎ 利用者の特徴

- ・ 利用者の約99%が観光客で、地元利用は比較的少ない。
- ・ 北陸方面から訪れる観光客が多い。

◎ 道の駅小谷の強み

- ・ 山菜や山ぶどうなど、地域の自然資源や特産品を活かした商品展開。
- ・ 地元の方が提供した商品を販売し、地域と連携した運営を行っている。
- ・ 木材など地域資源を活用した施設づくりを行っている。

◎ 課題

- ・ 特産品が少ない中で、他の道の駅との差別化が難しい
- ・ 人材不足



☆塩の道ちょうじや（塩の道博物館）

◎歴史

- ・明治23年に建造され、塩問屋として平林家が取り仕切る
- ・平成29年10月に国登録有形文化財に登録
- ・塩の町旧街道の歴史を保存し、資料展示

◎文化・芸術

- ・若一王子神社例大祭についての展示
- ・北アルプス国際芸術祭2024作品の展示（山本基）

◎課題について

- ・年間3万人→年間4千人に減少
- ・バスツアーが減少していることも起因する

◎展望

- ・HAKUBA Valleyとの取り組みを行うことで冬場に集中する観光客の分散とさらなる観光資源の創出につながる



☆仁科商店

◎仁科商店の取り組み

- ・約20年前に閉店した「仁科青果」を、孫の栗林さんが受け継ぎ、2025年5月にリニューアルオープン。

◎商品へのこだわり

- ・フェアトレード商品やオーガニック商品、地産地消の商品などを取り扱っている。
- ・「子どもたちや次の世代に何を残していくのか」を考えて商品を選んでいる。
- ・将来の世代がさまざまな選択ができるよう、選択肢を広げていきたいという思いがある。

◎店舗の特徴

- ・常連のお客様も多く、地域の人に愛されているお店。
- ・店内には立ち飲みスペースがあり、地元の人や観光客が気軽に立ち寄り交流できる場になっている。



みつまたさんそうとしょしつ
☆三俣山荘図書室

◎お店情報

- ・松葉屋(ゲストハウス)と姉妹店
- ・群馬県出身の方が移住してきてお店を回している
- ・蔵を借りて運営

◎移住のきっかけ

- ・山が好きで近くに住みたいと思ったから

◎移住してきた人から見た大町

- ・ポテンシャルがまだまだある

▼考えたこと

人手不足の部分は、経営をしたい若者や移住したい人を巻き込む
空き家や文化的な建物を活用してビジネスチャンスの場を提供



☆対岳館

◎対岳館の強み

- 地元の食材を使い、地産地消に特化した食事
- スキー場からの立地の良さ
- 国籍を問わず顧客に満足していただけるホスピタリティ
- 9割がリピーターのため、エージェントなどを使わない

◎観光客の特徴

- 特にオーストラリアからの観光客が多い

◎SDGsの取り組み

- 地下水をかけて雪を解かす
- 地下水をクーラーの代わりに活用➡電気の消費量を抑える



☆エイブル白馬五竜

◎SDGsの取り組み

- ・ 雪崩事故をきっかけに、環境保護や安全対策への意識が高まった
- ・ スキー場開発で失われた自然を再生するため、高山植物園を整備
- ・ 現在は300種類以上の植物を育成するとともに、2025年に自然共生サイトに認定
- ・ 再生可能エネルギーの導入やLED化により、CO2排出削減を実施
- ・ 寄付付きリフト券「POWチケット」の売上金を活用し、生ごみ処理機を導入

◎運営の特徴

- ・ 冬はスキー場、夏は高山植物園として山を活用した通年型運営
- ・ ISO14001を取得し、環境・安全・顧客満足度などを継続的に管理
- ・ 環境対策や設備投資のため、収益を再投資している



☆八方尾根開発

◎SDGsの取り組み

- ・ 森林や環境保全をはじめとするSDGsの普及活動
- ・ 再生可能エネルギーを活用しCo2削減
- ・ 属人化しない人材育成の仕組み化と再生可能エネルギー事業への挑戦

◎グリーンシーズンの取り組み

- ・ ネイチャーラベル、種子マットの導入
- ・ 高山植物の保護と浚渫作業
- ・ 登山客に向けた標高2,000メートル水洗トイレ

◎スキーシーズンの取り組み

- ・ GPS走行システム SNOW sat の導入
- ・ 尿素SCRシステムによる排気ガス浄化技術
- ・ 寄付付きシーズン券POWチケットの導入



☆岩岳リゾート

◎岩岳リゾートの強み

- ・冬21万人、夏26万人と通年観光を行えてる。
→通年雇用が可能になりサービス向上に繋がっている。
- ・レストランではなるべく地元の食材を使う
- ・常に進化をしてる（駐車場の整備や新しいアクティビティの創設など）

◎SDGsの取り組み

- ・廃線になったゴンドラ駅を改装し、売店・レンタルスペース・チケット販売機能を備えた施設へリノベーション
- ・リフトの運行には再生可能エネルギーを活用
- ・ナラ枯れによって伐採された木材をベンチとして再利用
- ・山頂ではペットボトル飲料の販売を行わず、瓶や缶で提供することでプラスチック削減に取り組んでいる

◎現状の課題

- ・通年雇用ができるようになっても、白馬は家賃が高く、従業員の住居が用意できないため、雇用の大幅な獲得ができない



☆白馬観光課

◎観光(自然)

夏：アクティビティ

冬：ウィンタースポーツ

◎実際に感じている課題・効果

- ・冬に頼っているところが、、、。
- ・夏に滞在せず、日帰り客が多い
- ・タクシーの不足(ウーバーを使って何台足りないのか、需要をデータで集める)
- ・タクシー会社に依頼(白馬には1社のみ)タクシー区域から応援で来ている

◎地域住民の声に対して

- ・内容を受け入れてから、判断、回答していく

➡本当のことかジャッ字

➡外国人のマナー条約

◎ウーバーの利用者は半分以上がオーストラリア人

◎ナイトデマンドタクシー(飲食店の足で始めた)



☆三八商店

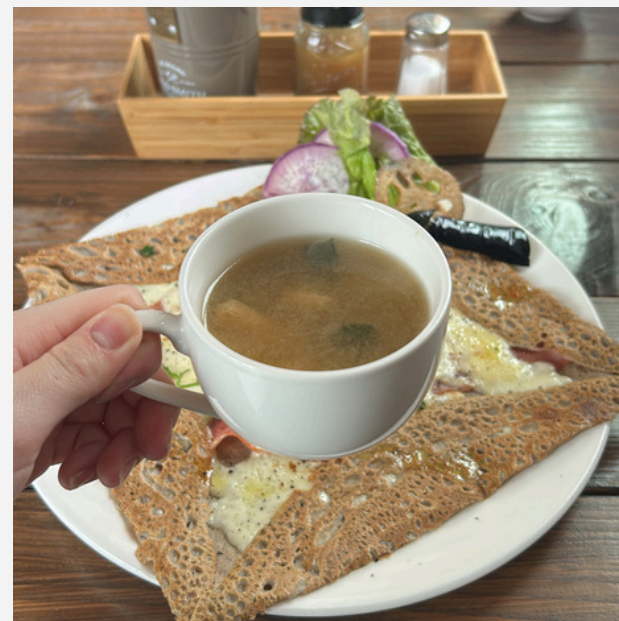
◎訪れる層

夏：地元の方や、登山目的の観光客が多く来店

冬：外国の方が多く来店

◎お店の取り組み

- ・販売している雑貨の売り上げの一部を環境保全や登山関係に使っている
- ・白馬産のそば粉を使用
- ・シーズン関係なく通年営業





現地調査からの考察



アンケートを見た時

➡SDGsを理解しようとしている人が少ない印象

実際に訪問した時

➡SDGsを意識的に取り組んでいる人もいれば自然と環境にやさしいことをしている人もいた

そこから感じたこと

➡SDGs(再エネ)、コストや維持費がかかるので、**ウィンターイベント以外の収入源**、通年人が集まる仕組みを作ることが最優先であると感じた

SDGsを進めるために必要な“土台”とは



1. 現状→人手不足・コスト負担で余裕がない
2. そのため→SDGsに取り組めていない
3. 必要なこと→まず観光の基盤づくり



SDGsは“余裕”があって初めて実行できる

「そこで私たちは“観光の土台づくり”を提案する」



インターンを通じて

Hakuba Valleyへの提案



目的

白馬バレーを冬のスキー観光中心から
通年型観光地へ転換する。

課題

- **夏の滞在時間が短い**
 - **地域内回遊が弱い**
- **地域ごとの役割が曖昧**

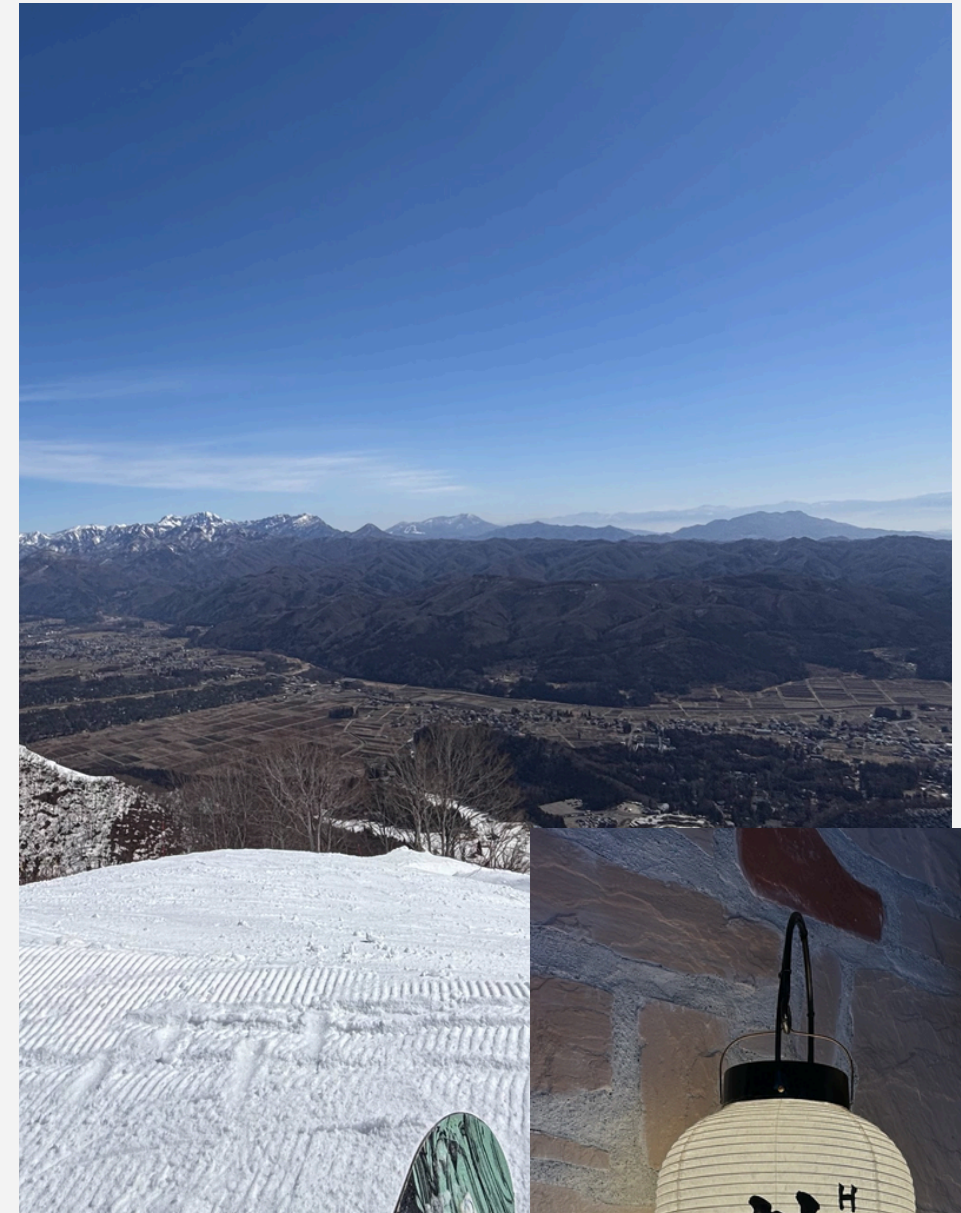
白馬村

◎白馬村の現状

- 国際的なリゾート地となっている
- 冬場のスキーシーズンにインバウンド客が集中し
反対にグリーンシーズンには観光客の減少が目立つ
- インバウンド価格帯が多く、通年営業が少ない
- 居住区の手配が難しいため、行政的に白馬村内に
お金が落ちにくい

◎現地調査からの気づき

- 自然の中に息づく産業で国内外と繋がっている



白馬村SUP×ビアガーデン

白馬で満たす、五感の静けさ。

企画理由

- ・ 既存のSUPを白馬の夏の滞在導線にする
グリーンシーズンの観光客の集客を目指す
- ・ 絵画のような空間で非日常的空間で癒しを提供

◎企画内容

- ・ 絵画のような景色の中でSUP体験
 - ・ 白馬村内飲食店とともにビアガーデンを開く
- 白馬の夏は、静けさを味わうリゾート



小谷村

◎小谷村の現状

- 観光客は白馬には訪れるが、小谷村、大町市にはあまり足を運ばない
- レンタカーは事故リスクやガソリン代の高さが負担になっている

◎現地調査からの気づき

- 道の駅や山道など、自然や地域の雰囲気の魅力がある



小谷村マラソンイベント

小谷の自然や景色を活かしたマラソン大会を開催

◎企画理由

- ・車を使わずに地域の魅力を体感できる機会を提供
- ・走ることで地域の雰囲気や自然をより深く感じられる

◎特典・仕組み

- ・ゴール地点を道の駅に設定し、参加者全員に温泉無料券を配布
 - ・白馬のリフト券や大町市で使えるグルメクーポンなどの特典あり
- **特典を活用することで、大町や白馬への周遊につながる**



大町市

◎大町の現状

- ・観光客は白馬には訪れるが、小谷村、大町市にはあまり足を運ばない

◎提案

【歴史と水文化を活かした滞在型観光都市 大町】

- ・歴史建築を活用した**分散型ホテル**
- ・**商店街の再生**、テナント誘致
- ・若一王子神社例大祭を夏の**核心的行事**として売り出す
- ・湖と市街地の観光連携
- ・**観光回遊の仕組み**（大町パスポート）



ヒアリング協力事業者様へ

- 道の駅小谷 様
- 対岳館 様
- エイブル白馬五竜 様
- 八方尾根開発 様
- 岩岳リゾート 様
- 白馬観光課 様
- 塩の道ちょうじや 様
- 仁科商店 様
- 三俣山荘図書館 様
- 三八商店 様

お忙しい中ご協力ありがとうございました。



インターンを開催して下さった皆様へ

お忙しい中私たちに多くの学びや体験
貴重な経験をさせていただきありがとうございました



